



中道基夫 編
四六判230頁/2310円(税込)
キリスト新聞社

『イエスの誕生』

アドヴェントからクリスマスへ

榎本てる子、平野克己、森本あんりなど合計二〇名がアドヴェント・クリスマスに関する説教を一編ずつよせた説教集である。教会、キリスト教学校、病院、社会福祉施設などさまざまな宣教の現場に遣わされた説教者が、それぞれの切り口でクリスマスの喜びを語っており、クリスマスという出来事の豊かさが伝わってくる好著だ。

ある説教者は夜中、芝山の上に寝転んで、学生と共にわくわくしながら獅子座流星群の訪れを待ち望んだことを思い出しつつ、ベツレヘムの厩うまやにいた人々の期待と喜びに思いを寄せていく。

ある説教者は自身が牧する高齢者を思いつつ、メシアの到来によるイスラエルの慰めを待望していたシメオンとアンナについて語る。そして言う。「けれども、もうわたしたちは待ち続けなくてよい。もう待たなくてもよいのです。……主イエス・キリスト、メシアはお生まれになりました」。